

平成25年度自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

平成26年6月30日

自己点検・評価委員長
清水 優作

平成 25 年度自己点検・評価の実施結果と今後の課題について

平成19年に改正された学校教育法及び学校教育法施行規則により、専修学校・各種学校においては「自己評価の実施と評価結果の公表が義務化」され「学校関係者評価の実施と評価結果の公表が努力義務化」された。これに伴い本校でも自己点検評価の実施と学内での評価内容閲覧を可能としているところであるが、今後、より教育の質を高め、社会から信頼される学校を目指し、自己点検評価内容の見直しと本校ホームページ上での公表を行うこととした。現在、自己点検・評価項目については様々な研究会でその内容が検討されているところであるが、それらを参考にして平成25年度版自己点検・評価項目を作成した。今後、自己点検・評価項目については更なる検討を行うと共に、平成26年度中に「学校関係者評価」の実施もしていく予定である。

点検・評価項目の達成度及び取り組み状況

ほぼ達成 (8 割以上)	概ね達成 (6 割以上)	変化の兆し (4 割以上)	不十分 (4 割未満)
A	B	C	D

1. 建学の精神・教育理念・教育目標			達成度
(1) 教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が、明文化されているか。			A
項目	①	学生等に対して教育理念等を明文化し、周知を図っているか。	A
	②	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知を図っているか。	A
	③	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。	A
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>当校では、教育理念、校訓、教育方針などを、《学生の手引き》に記載して、毎年4月の、新入生・進級生オリエンテーション時に、周知徹底を図っている。</p> <p>職員には、毎年、内容の更新があった時点で、職員会を実施し、内容の確認・指導について、情報の共有・確認を行っている。</p> <p>学習指導につきましては、各系、各学科で作成されましたシラバスに則り、建学の精神に基づき、且つ、地域社会のニーズに対応し、時代の要請に応えながら、企業等の現場に於いて、即戦力となり得る人材の育成に努めている。</p> <p>教育目標・教育方針等は、当校のホームページに掲載して、いつでも閲覧できるようになっている。</p>		

2. 教育の内容			達成度
(1) カリキュラム・シラバスの作成がなされているか。			A
項目	①	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	A
	②	カリキュラム作成が複数のメンバーにより行なわれているか	A
	③	カリキュラム作成にあたり、業界関係者等の意見が取り込まれているか。	B
	④	シラバスが作成されているか。	A
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>カリキュラムは、各系の教員と責任者である課長、教務部長がとりまとめて、各界の関係者（非常勤講師を含む）の意見を参考として作成している。</p> <p>カリキュラム及び、シラバスは、教育理念・教育目標に沿いながら、各系・学科の特色が出るものとなっており、即戦力としての人材育成に役立つ構成になっている。</p> <p>情報システム、情報ビジネス、IT、CGWeb技術といった情報系学科と、オフィス・経理事務系、販売系、公務員系といった10学科の構成の為、カリキュラム編成と、シラバスの整合性を持たせて運営している。</p>		
(2) 教授学習プロセスへの改善取り組みがされているか。			B
項目	⑤	学生アンケートによる授業評価が定期的に行われているか。	A
	⑥	結果に基づく教員面接を実施しているか。	A
	⑦	結果に基づく授業観察を実施しているか。	B
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>学生に対する授業アンケートは、前期末・後期末の年2回実施し、その結果については、各系の教務課長から、専任職員に対してフィードバックされている。</p> <p>また、改善点や、問題点などに対して、各系の教務課長、教務部長、校長が内容を確認している。</p> <p>また、必要に応じて、教員と面談して、改善に向けて取り組んでおります。また、入学時アンケート(新入生)や、就職決定者アンケート(卒年次生)を実施して、学生の声を吸い上げる取り組みも実施している。</p>		
(3) 各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取組がされているか。			A
項目	⑧	企業・施設等でのインターンシップを行っているか。	A
	⑨	コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか。	A
	⑩	リメディアル教育を行っているか	A
	⑪	企業・地域・行政との連携を図っているか。	A
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>インターンシップは、学内での学習（座学）を裏付ける形での実習であり、授業の重要性を改めて認識し、学生自身の希望職種への適性・自己発見に十分役立っていると思われる。又、社会性を身につける絶好の機会と捉えており、学生たちも意欲的に取り組んでいる。販売系学科では、販売実習を毎年行なっている。</p> <p>学内での座学と、学外での実践により、挨拶の重要性の認識、コミュニケーション能力の必要性についても再認識する、良き経験の場となっていると思われる。</p> <p>又、学内でも、教職員による挨拶週間、（各回1週間程度 6月・9月）を設定して、更に意識づけを行っている。</p>		

3. 教育の実施体制			達成度
(1) 教育環境が整備・活用されているか。			A
項目	①	組織機能図があるか。	A
	②	学校の年間スケジュールはあるか。	A
	③	図書室・図書コーナー等があるか。	B
	④	学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。	A
	⑤	就職支援を行う指定された場所があるか。	B
	⑥	分煙・喫煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	A
	⑦	学校生活（実習・行事・学外活動等）において保険加入しているか。	A
	⑧	防災設備（非常灯・消火器等）が整備・点検されているか。	A
	⑨	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	A
評価の理由・ 課題・今後の 改善方策	<p>人事異動や退職、新規入社等により、毎年適切な人員配置となるよう見直しを実施し、その時点においてベストな組織（図）を作成している。又、教職員がスムーズに機能する組織を目標とし、各人の役割分担を明確にして、その能力をフルに発揮できる場を目指している。</p> <p>年間スケジュール及び、学校行事については、教務部門と事務局部門とで十分に連携を取りながら、校務分掌を作成し、教職員一丸で取り組んでいる。</p> <p>図書室も設置して、学習の一助としている。又、日経新聞、地元紙などがいつでも閲覧できる状態にある。</p>		

4. 教育目標の達成と教育効果		達成度
(1) 各学科の教育目標、育成人材に向けてその達成への取り組みと評価がされているか。		A
項目	① 学生の就職に関する目標を設定したか。	A
	② 学生の就職活動に関する記録がなされているか。	A
	③ 学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	A
	④ 外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット、HP 等)	B
	⑤ 評価・成績に関する記録がなされているか。	A
	⑥ 資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	A
	⑦ 資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	A
	⑧ 資格・検定・コンペの結果に関して検証・報告がされたか。	A
	⑨ 資格・検定・コンペの結果(合格率等)を公表しているか。	A
	⑩ 退学率の目標を設定しているか。	A
	⑪ 退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	A
	⑫ 退学結果に関して検証・報告がされたか。	A
	⑬ 卒業生の進路・就職先等の記録がなされているか。	A
	⑭ 卒業生の進路・就職先等を公表しているか。	A
	⑮ 卒業生の1年後の就職状況を把握しているか。	B
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>資格取得・就職等については、学校運営上基本且つ重要事項である。</p> <p>社会のニーズに対応できる即戦力としての資格取得であり、専門学校における最終目標は、就職であると思われる。この目標の達成に沿っての授業であり、学びであり、資格取得である為、学校長はもちろん、教務部と就職部の緊密なる連携と、きめ細やかな指導を実施している。</p> <p>各種資格試験等にも明確な目標を設定して、その結果を検証し、次へのステップとして活用している。</p> <p>また、本学の在校生は、地元就職志向が強く、95%前後が県内(地元)就職となっている。また、内定率は、例年96%以上を達成しており、地域社会に人材を供給し、貢献している。</p> <p>地域社会で必要とされる人材の育成、地元への貢献をなし得る人材の育成をモットーに、学校教育を行っている。学生の就職に関しては、原則、無理強いをしない方針を貫いている為、1年以内の早期離職者は少ない状況にある。今後の課題として、卒業後1年以内の離職者調査等を3年に1回程度実施してゆく必要があると思われる。</p>	

5. 学生支援			達成度
(1) 各学科の教育目標、育成人材に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか。(入学前)			A
項目	①	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A
	②	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A
	③	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A
	④	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A
	⑤	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制が出来ているか。	A
	⑥	学校説明等による情報提供(上記1～4)を行っているか。	A
	⑦	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	A
	⑧	入学者に対して学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか。	A
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>本学では、学校説明会、オープンキャンパスなどを通して、入学前に学科、コースのミスマッチの回避策を実施している。経理ビジネス科では、学科独自に、入学前短期オリエンテーションと授業を実施して、学科にスムーズに馴染めるようなシステムを採用している。学校パンフレットや、HPにおいて、各学科のメインの授業、科目、目標、就職採用実績などをわかりやすく明示している。販売実習など、学外での販売体験例を通じて、入学後の姿を体験してもらい、スムーズなイメージ作りに努めております。また、入学前後のオリエンテーションは2～3日をかけて、学校で学ぶ全体像を示し、モチベーションの醸成に努めている。</p>		
(2) 各学科の教育目標、育成人材に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか。(在学時)			A
項目	⑨	担任による面談が定期的に行われているか。	A
	⑩	キャリアサポート関連の担当者がいるか。	A
	⑪	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	B
	⑫	学生の面談・相談記録があるか。	A
	⑬	定期的に健康診断を行っているか	A
	⑭	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A
	⑮	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>本学では、入学直後(4月下旬)と、夏休み明け(9月上旬)、2年次進級直前(1月中旬)の年3回、担任による個人面談を定期的実施している。又、学生の抱えている不安や要望の吸上げ、対応の場として随時、面談・ガイダンスを行っている。就職に関しても、学生、担任、就職課との三者面談を年3回以上実施し、学生の進路の相談の場を設定している。</p>		

(3) 各学科の教育目標、育成人材に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか。(卒業後)			B
項目	⑯	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	A
	⑰	卒業生への職業紹介をしているか。	A
	⑱	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	B
	⑲	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP、学校便り等)	A
評価の理由・課題・今後の改善方策	年1回(9月~10月)、地元ホテルにて、大規模な同窓会を実施している。又、卒業生に対しても、常に門戸を開けており、就職・転職相談に対応している。地元企業との信頼関係が当校の財産であり、適宜、卒業生の在籍している企業を訪問して、情報交換を行っている。企業や医療機関等に、有意な学生を送り込んでおり、地域社会に十分貢献していると思われる。学校情報についてはHPで、学校便りについては卒業生全員に、例年、秋口に郵送している。		
(4) 上記以外を通じての学生支援			A
項目	20	学校情報を保護者に知らせているか。(HP、学校便り等)	A
	21	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	A
	22	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	B
評価の理由・課題・今後の改善方策	保護者に対しては、年1回の保護者会の実施、前期・後期末には成績表と共に学生の現状報告を行っている。又、出身(高等学)校等へは、事務局が中心となって就職状況などと合わせて報告している。学校全体像は、HPを通じて案内・情報公開を実施している。企業等に対しては、就職用に作成したパンフレットを資料として個別企業訪問や就職ガイダンス等を通じて情報発信をしている。		

6. 社会的活動			達成度
(1) 意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか。			A
項目	①	目標・計画に基づく社会的活動（地域活動、地域貢献、ボランティア活動等）を実施しているか。	A
	②	地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟しているか。	A
	③	上記において定期的な会合に参加しているか。	A
	④	教育資源（施設・設備の開放・教職員の出張講座等）を地域社会に提供しているか。	A
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>本校は、地域で開催されるボランティア活動、長岡祭り（夏季）時の市内河川の清掃活動、神輿担ぎ等、積極的に地域社会へ参加している。県や市等、行政からのポスター作製の依頼も多数あり、当校学生の制作物（ポスター等）が、長岡市などあちこちに掲示されている。</p> <p>また、長岡商工会議所、長岡市国際交流協会等の会員として、地域活動の支援を行っております。校長以下、様々な地域活動の会合や、インターンシップ委員会等にも意欲的に出席して地域社会と緊密な連携を取っている。</p> <p>長岡市の総合支援学校の教職員の為のパソコン講座の開講・指導・会場提供等など、様々な分野で地域社会への貢献を行っている。</p>		

7. 管理運営			達成度
(1) 学校の管理・運営体制が確立しているか。			A
項目	①	理事会が定期的開催されているか。	A
	②	評議会が定期的開催されているか。	A
	③	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか。	A
	④	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	A
	⑤	賃金制度は文書化されているか。	A
	⑥	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	A
	⑦	防災、防犯対策に対して組織化されているか。	A
	⑧	定期的に防災訓練を実施しているか。	B
	⑨	個人情報保護規定が文書化されているか。	B
	⑩	公印管理簿があるか。	A
	⑪	出退勤管理簿があるか。	A
	⑫	受信・発信簿があるか。	A
	⑬	教職員の健康診断がされているか。	A
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>理事会、評議会につきましては、定期的にNSGグループ全体で行われている。学内においては、教務部門の会議、就職部門の会議を毎月1回開催して、学内（学生）状況の把握に努めている。</p> <p>職務分掌も明示して、各人の役割分担を徹底している。防災訓練も、年1回実施している。個人情報の保護や、健康診断などは、NSGグループ全体で管理・指導され、実行している。</p>		

8. 財務			達成度
(1) 財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか。			A
項目	①	年度予算、中期計画が策定されているか。	A
	②	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	A
	③	会計監査（内部・外部）体制のルールが明確化されているか。	A
	④	会計監査（月次決算書等）の結果報告が文書等にて明確化されているか。	A
	⑤	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	A
	⑥	固定資産管理規定が文書化されているか。	A
	⑦	物品（消耗品・貯蔵品等）等の在庫管理をしているか。	A
	⑧	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	A
	⑨	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	A
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、事業部単位で、適切に外部監査を受けている。現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていきたいと考えている。</p> <p>（特記事項）学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。</p>		

9. 改革・改善			達成度
(1) 各学科の教育目標、育成人材に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善の為にシステムが構築されているか。			A
項目	①	自己点検・評価を適正に実施運用する為のルールが文書化されているか。	A
	②	自己点検・評価の組織があるか。	A
	③	評価・改善を行う為の組織があるか。	A
	④	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	A
	⑤	自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	A
	⑥	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	A
	⑦	自己点検・評価報告書があるか。	A
	⑧	自己点検・評価報告書が公表されているか。	A
評価の理由・課題・今後の改善方策	<p>学校管理、運営体制については、組織図、校務分掌を毎年度作成して、周知徹底を図っている。</p> <p>又、自己点検・評価についても、NSGグループ全体で実施されている。上期・下期の年2回を実施し、教職員の資質向上につながるよう努めている。問題点や、検討事項がある場合は、個人面談を実施して、改善に努めている。</p>		

以上